

# 子どもが「学校に行きたくないと」言ったら

令和6年4月 高松市教育委員会



不登校は誰もがなりうることです。子どもが「学校に行きたくない」と言ったら、まずは気持ちを受け止め、子どもが少しでも笑顔で過ごせるよう支援を考えていきましょう。

## ●子ども理解の第一歩 ～学校に行きたくなくなるのはなぜ？～



不登校の要因は一つではなく、複合的に絡み合っている場合が多いため、一つの要因を解決しても不登校が解消されない場合があります。

もし、子どもが「学校に行きたくない」と言ったら、まずは学校にご相談ください。学級担任だけでなく、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、特別支援教育コーディネーター等、いろいろな立場の職員が関わって、必要な支援は何かを一緒に考えていきます。

学校を休んでいなくても、不登校になる前に、子どもからそのサインが出ていることがあります。家庭において下記のようなサインがあれば、担任の先生に学校での様子を聞いてみましょう。

## ●こんなサインはありませんか？

### 生活面

- 好きなこともしなくなり、生活全般で意欲が低下している。
- 朝になると、頭痛や腹痛を訴えるようになった。
- 部屋に閉じこもりがちになり、夜遅くまでスマホやゲームをして、昼夜逆転している。
- 物をなくしたり、嘘をついたりすることが増えた。
- 生活ノートや連絡帳などの日記欄に悩みや「疲れた」などの言葉を書いたり、空欄のまま提出したりしている。
- 登校時間が以前より早く(遅く)なった。
- 提出物があまり出せなくなり、成績が下がってきた。
- 特定の教科の授業がある日に欠席や遅刻、早退、欠課をするようになった。
- 友だちと遊ばなくなったり、一緒に遊ぶ友だちが変わった。



### 表情や態度

- 学校のことを聞くと不機嫌になったりはぐらかしたりする。
- 以前に比べて笑顔が減り、投げやりな発言をするようになった。
- 食事をあまり食べなくなった。
- 一人になりたがり、家族での活動を避けるようになった。
- 万引きなどの反社会的な行為があった。
- 過度に甘えたり、そばを離れなくなったり、わがままな言動が増えてきた。



### 服装・身なり

- 爪を切らず伸ばしたままにしていたり、噛んで極端に短くなったりしている。
- 髪型を気にせず、あまり手入れをしなくなった。
- だらしなく服を着たり、同じ服を着続けたりする。
- 髪で顔を隠そうとしている。
- マスクを外さなくなった。
- 自傷行為が疑われるような痕がある。



## ●不登校の段階

### 不登校準備段階



- 学校には行っているが、登校を渋ったり、不安そうな顔をしていたりする。
- 遅刻、早退、欠席日数が増える。
- 保健室や別室に行きたがる。



- 子どもの話をしっかり聞き、気になることがあれば、担任の先生にも情報を伝えておく。

### 不登校開始段階



- 学校をよく休むようになる。
- 親から離れない(分離不安)。または家族と会いたがらない。
- 学校の先生や友だちが家に来ても会おうとしない。電話にも出ない。



- 放課後登校や別室登校などができないか、学校に相談する。
- 欠席したときに、昼夜逆転しないように、生活リズムを整える。

いじめや友だち関係が原因と考えられる場合は早めに学校に相談しましょう。  
心や体の病気が疑われる場合は早めに小児科を受診してみましょう。  
他の不登校と同列に「待って」しまうと欠席が長期化してしまうことがあります。

充電中...



### 社会との再会段階



- コンビニで買い物など、コミュニケーションの少ない場であれば疲れなくなる。
- 学校行事に興味を示す。
- 友だちと連絡を取る。会うことができる。
- 別室登校や教育支援センター、フリースクール、ボランティア活動習い事など外の活動に興味を示す。



- 再登校を急がず、本人の状況をよく確認して、少しずつ情報を与える。
- 登校する場合は、担任の先生と相談して時間や場所、内容などを本人に決めさせる。

### ひきこもり段階



- 家にひきこもっており、変化がなく行き詰っている。
- やる気が起きず、ゲームやスマホなど、思考力のいらぬものにのめり込む。
- 家族以外と話すことが辛い。
- 家族に当たったり、自分を傷つけたりする。



- 日常的な会話、食事や睡眠など生活リズムを整える。
- 手伝いなどの役割を与える。
- 本人の攻撃性が収まらない場合は医療への相談も考える。

### 復帰段階



- 人と会っても疲れなくなる。
- 友だちと遊べる。
- 学校や教育支援センターなど、集団の中で活動できるようになる。
- 不登校以前の活動的な様子が見られるようになる。



- 高すぎる目標を立てたり、頑張りすぎたりしないように活動の調整をする。
- 学校、関係機関に連絡をとり、変わった様子はないか情報交換をする。

すべての子どもがこの段階に当てはまるわけではありませんが、不登校開始段階で学校や家庭などで過ごしやすいように環境を整えても状況が改善されない場合は、心の充電を必要としている場合もあります。本人の話をじっくり聞き、状況を見ながら周囲が連携して支援を進めていく必要があります。



# 居場所 支援

## ●教育支援センター

教育支援センターは、小集団の活動でコミュニケーションの練習をしたり、基本的な学習の支援を受けたりする教育委員会が設置している施設です。子どものペースに合わせた活動を行ったり、心が元気になるつつある子どもに活動の場をつくったり、学校と連携しながら、学校復帰の支援をしたりします。本市には「新塩屋町 虹の部屋」と「みなみ」の2教室あります。見学等のご希望のある方は、学校または高松市総合教育センター支援係にお問い合わせください。

しんしおやまち  
新塩屋町 虹の部屋

生活室 実習室  
相談室 体育館

〒760-0060  
すえひろ  
高松市末広町5番地（総合教育センター内）  
かたはらまち  
片原町駅より約450m

みなみ

生活室 学習室  
相談室 運動場

〒761-8077  
しゅっさく  
高松市出作町348番地6（龍雲中学校西）  
ぶっしょうざん  
仏生山駅より約800m

## 1日の活動の流れ

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
月・木	読書や学習	自由時間		振り返り			
火・水・金	読書や学習	自由時間		昼食(弁当) ・休憩	自由時間		振り返り

※9:00～10:00 は静かに過ごす時間、それ以降は自分のやりたいことに合わせて活動を選ぶなど、周囲に迷惑がかからない程度に自由に過ごせます。

## 活動内容

子どものペースに合わせて活動を行います。月に数回、イベントもあります。

学習



読書



造形活動



体育活動



料理活動



他にも書写活動や地域探訪、活動発表会などの行事があります。

## ●不登校及び不登校傾向の子ども対象のイベント「フレンドシップ事業」

フレンドシップ事業は、子ども同士や先生方との交流、進路情報の提供など、子どもの自立のための活動をしています。学校を通して申し込むことができます。

### フレンドシップ in サマー

7月開催  
(場所は年ごとに決定)

不登校及び不登校傾向の子どもが参加する体験活動です。様々な活動を通じて、人と関わる楽しさを味わいます。

### フレンドシップ 進路説明会

10月開催  
高松市総合教育センター  
(オンラインでも配信)

公立定時制、公立通信制、私立全日制、広域通信制、通信制サポート校など、不登校の生徒の受け入れがある学校に絞った進路説明会です。

### フレンドシップ in オータム

10月開催  
高松市総合教育センター

教育支援センターの活動報告、ミニバザー、造形活動などを行い、在籍校の先生や他校の子どもと交流します。教育支援センターのことを知りたい人にもおすすめです。

## ●個別指導

「アシスト教室」「サテライト教室」では、発達障がい等によって、学校生活になじめない子どもへの個別指導を行っています。特性に合わせた学習方法の習得やSST(ソーシャルスキルトレーニング)を行う教室です。教育支援センターに通室しながらでも利用できます。通室を検討される方は、学校にお問い合わせください。



### アシスト教室

小・中学生対象

対 象	支援を要する小中学生
場所と時間	1回 50分程度 「虹の部屋」週3日(11時~19時) 「みなみ」週2日(9時~17時)
期 間	I期(4~8月) II期(9~12月) III期(1~3月)
回 数	全 10回程度 (面接、アセスメント、指導、事後面接) ※就学判定は不要です。

### サテライト教室(通級指導教室)

中学生対象

対 象	学習障がい、ADHD、ASDなど発達障がいのある中学生
場 所	「虹の部屋」(週2日開室) 「みなみ」(週1日開室)
時 間	13時~16時35分 1回 50分程度
回 数	月1~4回程度 原則最長2年程度 ※就学判定が必要です。

※どちらも通常の学級に在籍されている方が利用できます。アシスト教室は特別支援学級に在籍している不登校の子どもも利用できます。  
※時間や回数は、人数等により変更する場合があります。  
※指導要録上出席扱いになります。

NPO 法人親の育ちサポートかがわ  
「ユニパスバンク不登校編」

## ●フリースクールなどの居場所支援情報

NPO 法人「親の育ちサポートかがわ」が発行している「ユニパスバンク~不登校編~」に、教育支援センターをはじめ、フリースクールや居場所支援を行っている団体が紹介されています。子どもに合った居場所を考えるときの参考にしてください。



# 学支 習援

## ●家庭での学習サポート「ICTを活用した学習支援システム」

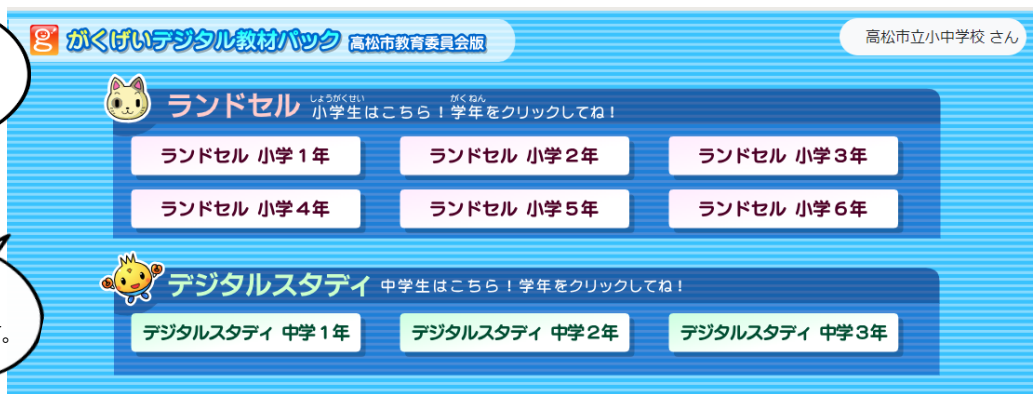
「ICTを使った学習システム」は高松市が教材業者と提携して作成した不登校傾向の児童生徒のためのオンライン学習支援システムです。家庭や校内サポートルーム\*、教育支援センターなど、インターネットに接続できればどこでも学習が可能です。家庭のパソコンでも、学校からの持ち帰り端末でも使用することができます。学校に申込みをすれば、無料で利用できます。（家庭でのインターネット接続に係る経費は個人負担です）

月に1回、学習時間や内容を学校に知らせるので、子どものがんばりが先生にも伝わります。条件によっては、指導要録上出席扱いになりますので、学校にご相談ください。

\*校内サポートルーム…教室に入りづらくなった児童生徒が安心して登校できるように設置している教室

つまずいた学年から学びなおしができます。

漢字検定やタイピングの勉強もできます。



## ●オンライン授業

教室で行われている授業を家庭や校内サポートルーム、教育支援センターなどで、オンラインで受けることができます。教科や授業内容によっては難しい場合もありますので、可能かどうかを学校に相談してください。条件によっては指導要録上出席扱いになります。



## ●進路に関する情報

「フレンドシップ進路説明会」以外にも、NPO 法人「親の育ちサポートかがわ」が発行している「ハイスクールプロジェクト 多様な進路を探ろう!～定時制・通信制編～」で、不登校の生徒や学習に不安のある生徒のサポートをしている高等学校の情報を得ることができます。進路について考える際の参考にしてください。高等学校の情報は常に変化しているので、ホームページなどで確認したり、実際にオープンスクールに参加して学校の特徴や雰囲気、その先の進路を確認したりしておく、子どもの希望に近い進路を選択することができます。

NPO 法人  
親の育ちサポートかがわ  
「ハイスクールプロジェクト」





# 保護者支援

## ●不登校を考える会

子どもが学校を休み始めると、保護者の方も参観日などの学校行事に参加する機会が減り、保護者同士のつながりも薄れてしまいがちになります。相談する相手がおらず、一人で悩みを抱えている場合も少なくありません。

6月と9月の年間2回ある不登校を考える会では、子育てや子どもの心理にかかわる専門家の講演や、小グループに分かれての悩み相談会を実施しています。

学校を通じて案内を配布しますので、不登校の子どもを理解や対応に悩まれている保護者の方はぜひご参加ください。



## ●親の会

不登校の子どもをもつ親の苦しみは、当事者だからこそ、理解することができ、情報交換の場所はとても重要です。教育支援センターでは、通室生の保護者を対象とした親の会(年間5~6回)を開催しています。また、不登校を考える会に参加した際に、情報提供メールを登録した方に案内している「親の会~夜会~」(8月と1月)を実施しています。情報提供メールは高松市総合教育センター(→p.8)のメールでもお申込みいただけます。



## ●教育支援センターのカウンセラーによる教育相談

教育支援センター「新塩屋町 虹の部屋」「みなみ」には専属のカウンセラーがいます。週に1回程度、カウンセラーによる子ども、保護者、教職員を対象とした教育相談を1回 60分、無料で行っています。学校のカウンセラーの予約が取りにくい場合などにも利用できます。スケジュールは高松市教育支援センターホームページに掲載しています。



「新塩屋町 虹の部屋」教育相談予約番号 ☎087-851-2011  
「みなみ」教育相談予約番号 ☎087-889-8900

高松市教育支援センターHP



## ●いじめ不登校に関する相談電話

不登校児童生徒や保護者対象の相談電話窓口です。いじめや不登校の実態や悩みを聞き、相談者に助言をしたり、関係機関の紹介をしたりします。

☎ 087-821-0099 (8:30~19:00 土日・祝日・年末年始を除く)



# 相談窓口・資料

高松市  
不登校相談

いじめや不登校に関する  
相談電話  
087-821-0099

香川県  
相談窓口・資料

教育支援センター  
教育相談(カウンセラー)



香川県教育センター  
教育相談課  
来所・電話・メール等相談窓口



なんでも  
話してみてください

相談電話  
こどもスマイルテレフォン  
087-839-2525

香川県 子ども政策課  
「かがわ 子ども・若者  
相談・支援機関ガイドブック」



不登校や発達に関する  
相談だけでなく、就労や  
ひきこもり等、中学校卒  
業後も相談できる窓口  
が載っています。

高松市  
健康づくり推進課  
こころの健康相談



こころの病気や  
ひきこもりなど、  
こころの健康に  
関する相談

発達に関する  
相談・資料

高松市障がい福祉課  
「発達障がいのある子どもと  
家族のためのガイドブック」



こども家庭庁  
親子のための相談ライン



香川県発達障害者支援センター  
「アルプスかがわ」  
087-866-6001

保護者向けガイド 子どもが学校に行きたくないと言ったら

令和6年4月発行

高松市教育委員会 高松市総合教育センター

TEL : 087-811-2161 FAX : 087-811-2170

E-mail : kyouikuken@edu-tens.net

